

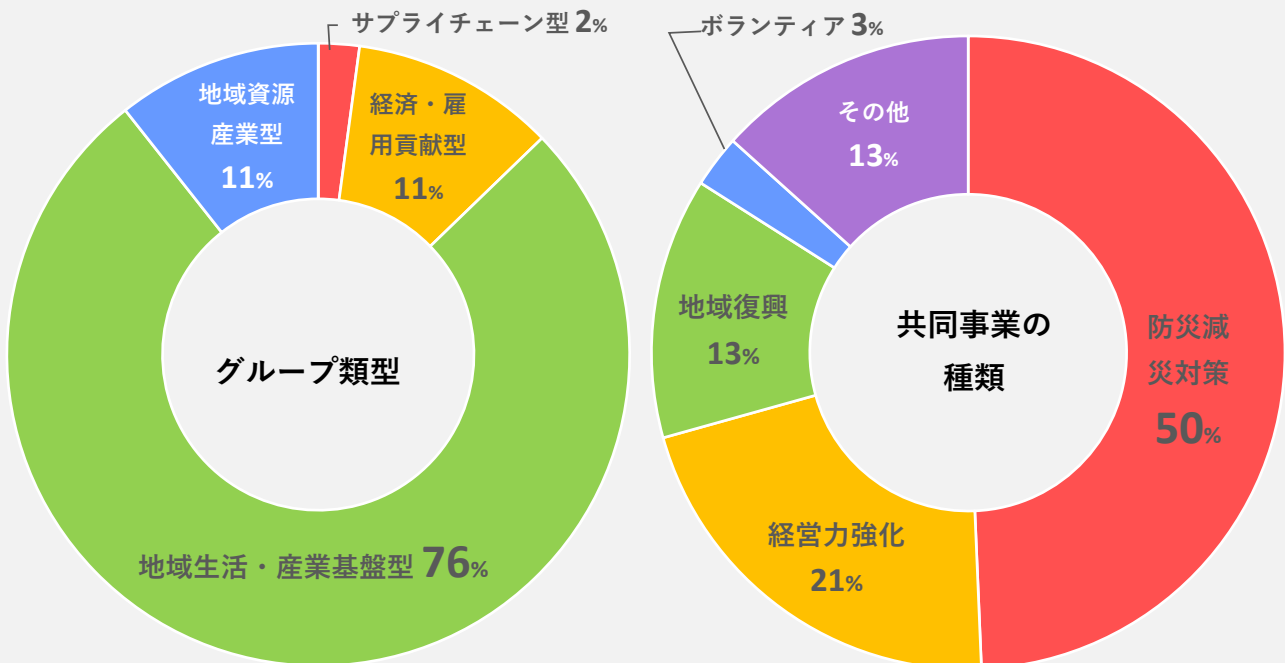
令和4年福島県沖地震グループ補助金

I アンケートの概要

- 実施内容：令和4年福島県沖地震グループ補助金で認定されたグループ（全47グループ）の代表者宛てに令和5年9月1日時点での共同事業の実施状況調査を行った。47グループ全てから回答があり、その結果についてとりまとめた。
- 目的：共同事業の実施状況とその成果を確認するため。
- 対象者：第1次（令和4年7月）～第7次（令和5年1月）において認定されたグループ（47グループ）

II グループ類型

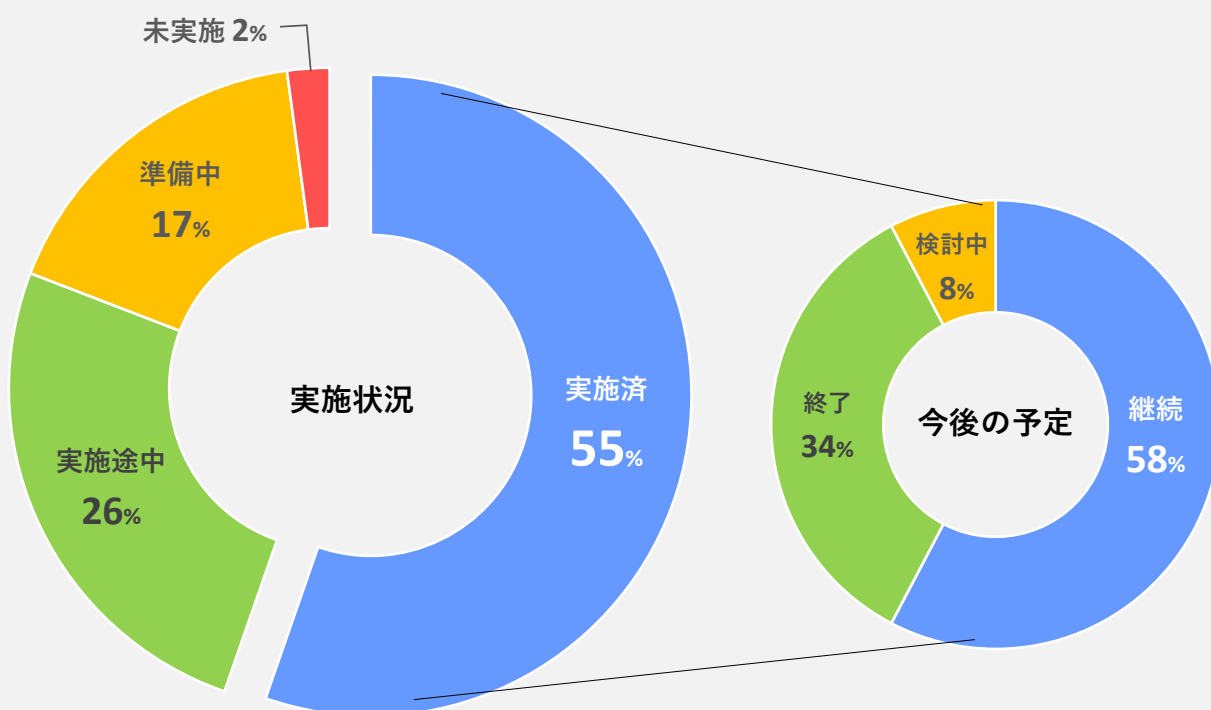
- グループ類型としては、地域生活・産業基盤型が76%と最も多く占めており、地域単位で復旧復興に取り組もうとしている事業者が多い。
- 共同事業の内容としては、防災・減災に関するものが50%、販路拡大や新商品開発等の自社経営力の強化に関するものが21%、イベント等を実施することで地域復興に取り組むものが13%、地域清掃活動等のボランティア活動に取り組むものが3%と続いたほか、その他にも新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する情報発信活動やインボイス制度に関するセミナーの開催等の共同事業があった。



グループ類型	グループ数	共同事業の内容					合計
		防災減災対策	経営力強化	地域復興	ボランティア	その他	
サプライチェーン型	1	1	1	0	0	0	2
経済・雇用貢献型	5	4	2	0	0	2	8
地域生活・産業基盤型	36	32	9	6	2	8	57
地域資源産業型	5	0	4	4	0	0	8
商店街型	0	0	0	0	0	0	0
合計	47	37	16	10	2	10	75

III 共同事業の実施状況

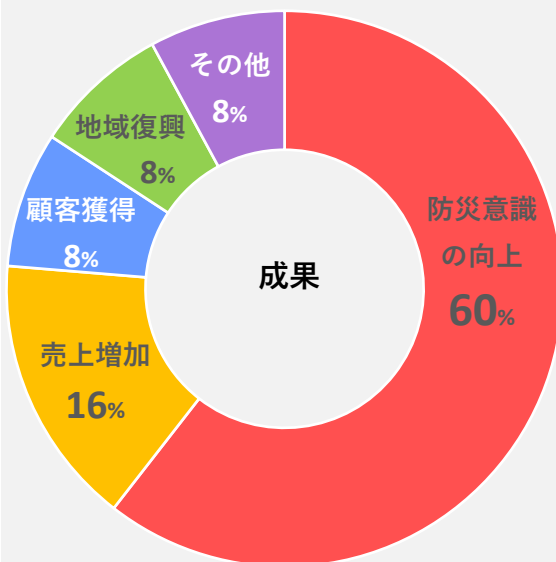
- グループ共同事業は81%が実施（実施途中26%）、19%が未実施（内準備中17%、未実施2%）との回答があった。
- 実施済の事業者の内、今後の共同事業の実施予定について58%が継続、34%が終了、8%が検討中と回答した。一方終了・検討中と回答したグループのうち、10件についてはBCPの策定を実施しているが、全ての構成員が策定を終えておらず事業の継続が必要であることから、引き続き継続的な実施を指導していく。
- また構成員の復旧を優先したため、共同事業の実施が出来なかったグループが1グループあるが、このグループについては今後の共同事業の実施を指導していく。



実施状況	実施済			実施途中	準備中	未実施	合計
	継続	終了	検討中				
サプライチェーン型	0	0	0	1	0	0	1
経済・雇用貢献型	0	2	0	3	0	0	5
地域生活・産業基盤型	11	7	2	7	8	1	36
地域資源産業型	4	0	0	1	0	0	5
商店街型	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	9	2	12	8	1	47

IV 共同事業の成果

●共同事業の実施状況について実施済・実施途中と回答した38事業者の全員が成果があったと回答した。具体的な成果の内容としては、防災意識の向上60%、売上増加16%、顧客獲得8%、地域復興8%となっており、共同事業の成果を確認することが出来た。



～成果例～

- セミナーに参加し、BCPの策定を行った（防災意識の向上）
- 接客スキル向上のための温泉地合同研修会を実施、顧客満足度調査による評価が上昇、前年同期比で売上が15%増（売上増加）
- SNSを活用した情報発信をすることによる誘客活動を実施した結果、webサイトの訪問数は18%増加、R4年度は全国旅行支援や県民割り等の影響もあり、来客数が50%近く上昇した（顧客獲得）
- 統一景観実現のため竹製のこけし灯笼を製作、来場者に大好評で買いたいとの声も多く、次回に繋げることが出来た（地域復興）
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための情報発信活動として、研修会を5回実施したほか、他施設向けの講義を10回、メディア対応を32回行った（その他）

グループ類型	防災意識の向上	売上増加	顧客獲得	地域復興	その他	合計
サプライチェーン型	0	1	0	0	0	1
経済・雇用貢献型	4	1	0	0	0	5
地域生活・産業基盤型	19	2	2	1	3	27
地域資源産業型	0	2	1	2	0	5
商店街型	0	0	0	0	0	0
合計	23	6	3	3	3	38

V 総評

● 共同事業の内容を5つの基準の4段階で評価を行った。

5つの基準

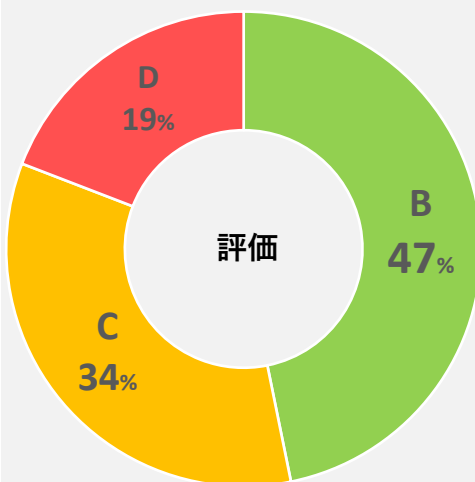
- ① 売上回復 (売上増加に繋がった…5点、売上回復出来た…3点、売上回復出来なかった…1点)
- ② 影響力 (影響が大きかった…5点、影響があった…3点、影響が小さかった…1点)
- ③ 実施率 (実施済…5点、実施途中…3点、未実施…1点)
- ④ 構成員の参加率 (全員実施…5点、一部実施…3点、未実施…1点)
- ⑤ 事業の新規性 (新規事業…5点、既存事業の延長上…3点、既存事業…1点)

4段階の評価

- A…20点以上
- B…15点以上
- C…10点以上
- D…9点以下 or 事業未実施の場合

● 評価としては、Bが47%、Cが34%、Dが19%という結果となった。Aがない理由としては、共同事業の実施が地域の復興に繋がるものの、グループ構成員の直接の売上には繋がらなかったことがあげられる。

● 共同事業はグループ補助金の申請に必須の取組であるので、今後も継続的に取り組むこと、特に未実施のグループについては、実施するよう指導していく。



グループ類型	評価				合計
	A	B	C	D	
サプライチェーン型	0	1	0	0	1
経済・雇用貢献型	0	2	3	0	5
地域生活・産業基盤型	0	14	13	9	36
地域資源産業型	0	5	0	0	5
商店街型	0	0	0	0	0
合計	0	22	16	9	47